

友の会だより

平成22年8月発行

第12号

たのしいおはなしを
たくさんおのせて、

全国訪問 本とあそぼう！

おはなし隊が

中央図書館にやってくる

こともたちに

言葉と絵がつくる

夢

を

8月15日(日) 午後3時～4時
3歳から10歳対象です

内 容
紙芝居や絵本の読み聞かせ
キャラバンカーの見学

参加申込 中央図書館まで
(先着50名 TEL22-0354)

集会 & ミニコンサート ご参加 ありがとうございました



五月二十二日(土)に集会とミニコンサートが行われ、この一年の総事業と決算の報告がなされました。

集會に参加された方は少なく、続くミニ・コンサートは、今回は事務局員の田中さんが寄贈してくださったピアノのお披露目という目的もかねていたため、広く皆様に楽しんでいただくことと一般の方のご参加も募りましたところ、なんと六十名近い方がお越しください

演奏中の福田美穂さん

り、事務局員一同感激でした。

はなやかな衣装に身を包んだ福田美穂さんによるショパンやシューマンの調べに皆さんゆったりとした時間をすごされたのではないかと思います。

お客様の中には、赤ちゃんを抱かれた方もいらっしゃいました。まるでみどりごが子守唄を聴いているかのように、音楽の持つ不思議な力を感じました。

最後にはアンコールの声も頂戴し、バンクーバーオリシピックで浅田真央選手が滑ったハチャトリアンの『仮面舞踏会よりワルツ』でにぎにぎしくはじめてのミニコンサートを終了することができました。

友の会では今後こうした音楽を取り入れた催しを増やしていく予定です。のでどうぞご期待ください。

「市立図書館の思い出」と「会長就任あいさつ」

宗 近 惣 助

高校時代の市立図書館は、現在の市役所南西の一隅に、石造の図書館でした。その写真は、現在の図書館入り口を入ると左側に展示(高校から帰る時には図書館令ち寄ったものです。館内は、やや薄暗い感じでありましたが、中へ入ると心が安らぎました。一年の社会科の佐久間先生から夏休みにレポートの宿題があり、その際に、岩波新書の「世界の平和」を参考にして発表したことがありました。また、混み合った電車の中で、Y君が、いつも、「源氏物語」の本を読み耽っている姿に触発されて、わたしは、岩波文庫のステイブンソン著「若い人々のために」を張り合っていました。

市教委社会教育課勤務の時に、市制三十周年記念として、市職員が各部ごとに芸能発表をしました。市教委チームは、故加藤良夫氏をリーダーとして、新しい図書館の三階を借りて、夜七時から練習しましたが、発表の際にはムーンングがあり懐かしい思い出です。

さて、現在の新しい図書館ができ、広々とした空間の中で沢山の山の本があり、私達が手にとって本に親しむことができることは至福の時間です。さらに、図書館との繋がりが一層深まりました。それは、はからずも、図書館友の会の会長と、いつ大役をお引き受けしたことです。わたしが武生南小学校に勤務していた際に、PTA活動を熱心にされていた村上さんから、会長をお願いしたいと、いつお言葉があり、自分の非才を省みず、引き受けました。栗波館長とも深い縁があり、皆さんのご恩に少しでもお返しすることができれば、と、思っていました。

図書館と本との出会いを「こよなく愛し合う」友の会「のため」に、微力ながら努めさせていただきますので、今後ともご指導とご支援をお願い致します。

受講生募集 児童文学を楽しむ会

講師 谷出千代子 仁愛大学

二〇一〇年度 第三回目および四回目

時間 午後七時から八時四十分

場所 今立図書館

対象 中学生以上

9月17日(金)

母性の魔力と魅力

昔話絵本『三枚のおふだ(福音館書店)』

『ヘンゼルとグレーテル(岩波書店)』にみる母性

11月19日(金)

ナンセンス絵本の楽しみ

『ひたひたどんどん(開放出版社)』

『まないたにりょうりをあげないこと(講談社)』

『ひみつのカレライリス(アリス館)』から

お問合わせは中央図書館まで 電話二一〇三五四

第二回「影」を終えて

第二回の七月十六日は、「影」に焦点があてられた。一言で「かげ」と言っても、大地にうつる影法師、水面に映る姿、月影、影あそび、また、「原っぱ」などと呼ばれる場所を示す言葉でもあるという。

さらに、隠れること隠されること、裏の部分(或いはヒダの部分)、無意識の部分、老いや死を象徴するものでもあるという。

「かげ」という言葉そのものが出てこなくても、文章の中に「かげ」が浮き上がってくるものもある。「影」は、意外にも、文学の立役者なのだ。存在感が薄いことを、「影が薄い」などというが、影というのはまさに生命力、人間性、人の厚みの現れ。影が、物語に深みと奥行きを与え、人間臭さを肯定してくれている。

先生の「影」の話に「光」の隅々まで届く思いがしたのは私だけだろうか…

(澄)

鈴木晴代 京都ブックトークの会元代表

教えて下さい、鈴木先生

Q.夏になると、何といっても怖い話の一つ二つ組み入れたくになります。けれど怖いのが苦手というお子さんがいたらどうしよう?と躊躇することも。おすすめの怖い本がありましたら、対象別に(低学年・中学年・高学年)教えていただけませんか。また、留意点なども教えてください。

ブックトークの目的は本の紹介を通して、もちろん今、目の前にいる子供たちの読みたい気持ちを喚起することにあります。そのもっと先には子供たちの生きていく中で、ずっと本と仲良しでいてほしい、生きる力にしてほしい、という大望もあるわけで、そのためには本格的に読書につなげていく、そんな力を培ってくれる作品を取り上げたいものです。この本を読んでほしいなの気持ちを託してブックトークにとりこんでいただけたらと思います。

低学年には 民話から

『くわすにようぼう』稲田和子(再話) 赤羽末吉絵 福音館書店

『子そだてゆうれい』桜井信夫文 若山憲絵 ほるぷ出版

『おぶさりてい』川村たかし文 関屋敏隆画 教育画劇

とっぴんばらり、でも どんとはらい 何でもお話のおしまいの合図で怖さを引きずらないで済みます。

中学年には民話や伝説

『しりっぼおばけ』ポール・ガルドン再話・絵 代田昇訳 ほるぷ出版

『本所ななふしぎ』斉藤洋作 奥江幸子絵 偕成社

『雪女』小泉八雲 平井呈一訳 伊勢英子絵 偕成社

高学年には

『怪談』小泉八雲作 平井呈一訳 偕成社文庫

保永貞夫訳 講談社青い鳥文庫は『耳なし芳一/雪女』

他に教育画劇から「古典怪談傑作選」が全5巻で出ています。(アンソロジー)

汐文社から「怪談 小泉八雲のこわい話」全10巻 高村忠範訳であります。

『時計は止まらない』フィリップ・プルマン 偕成社

『なぞの遺伝子研究所』ジリアン・クロス 偕成社

モンタギューおじさんの怖い話』クリス・ブリーストリー作さんべりつこ訳 理論社

と同時にもっと別な怖いものの存在(戦争・差別・貧困・病気・自然崩壊etc.)も伝えられたらと思います。



四苦八苦、原稿依頼に悩まされて

書評を書く順番がついに巡ってきた。

図書館友の会に籍を置く者にとっては不資格ではあるが、社会に出てから文学書らしきものとは不縁になって久しい。何とか一冊でも読んで書くこうと努力中であるが、読書予定の出張のJRの中でも睡魔に襲われてしまった。デンマーク戦のせいにはしたくないが……。

昔、宿題の読書感想文が一番最後に残り、毎年のように登校日の前の晩に、母に叱られながら泣きながら清書した思い出がよみがえった。

本から遠ざかっているわけではない。

HOW TOもの、中谷彰宏の精神根性もの、整理学の本、写真の多い雑誌、アフ等は好んで手に取る。ただ、感想文を書くとなると、非常に厄介で億劫である。

会報の原稿を、他人には簡単に依頼する身勝手さを、あらためて自戒した。

友の会のメンバーには多読家が多く、私が初めて耳にする作家も少なくない。家に戻ってGoogleで検索してさえも理解できない作品もある。

最近は、私の興味のカテゴリー守備範囲外であると割り切つて考えることにしている。

アマゾンお勧めや話題の本をとりあえず購入し、読んだ気になつてることが何と多いことか。これを機会にトイレの中のライブラリーの入れ替えをするつもりである。

一応、既定の字数は埋めたが、以後再び文章の依頼はないと思う。頭の中を見透かされたようで怖い気もする。

m

movie

「ヴェニスに死す」

ルキノ・ヴィスコンティ監督 1971年作 130分

水の都として知られるヴェニスの夏は、地中海から吹いてくるシロッコ(熱風)で気温が40度近くまで上昇し、運河の水も時間も停滞したかようになります。

この時期ヴェニスを訪れた、地位も名誉もある老境に

さしかかった芸術家アッセンバッハは、彼を魅了する美しい少年タッジオに出会います。若さと美しさを追い求めれば求めるほど、浮き彫りになっていく彼自身の老い。

かつて爛熟の繁栄を迎え、今疫病の蔓延により急速にたそがれに向いつつあるヴェニスを舞台に、美に知性を眩惑されていく芸術家の深い心理世界を見事に描いたトーマス・マンの傑作を、ヴィスコンティ監督がたとえようもなく美しい映像美に仕立てあげました。

全編を通じて流れる交響曲第5番第4楽章「アダージェット」は作曲家マーラー(主人公のモデルとされる)による音楽のラブレターと言われるだけあって、恍惚とも陶酔とも言えるようなエクスタシーを引き起こし、タッジオの美少年ぶりも手伝って観るものを眩惑させます。

この夏、「マーラーは危険」、「ヴィスコンティは危険」、「美少年は危険」の3Kの世界にあなたも浸ってみませんか。

第24回カンヌ国際映画祭 25周年記念賞受賞



図書館には、他にもヴィスコンティ監督のDVDがあります。

いざ鎌倉へ

三田村善衛

どういう心境なのか、気が向いたのでぶらりと鎌倉にまで足を伸ばすことにした。しかし目障りなくらいに観光客が多い。江ノ電などは満員でなかなか乗れない。お決まりの長谷寺にてアジサイを満喫。雪の下あたりも、あいからずアンティークや骨董関係の店が少なくないが、内容は今一つであった。イタリアンや甘味ばかり食べていたが、やっぱり観光地回りは僕には向いていないようだ。中古レコード店や古書店に居座っていた方がずつとシアワセである。

足が疲れたし、すつごく暑いのでタクシーにて北鎌倉まで移動する。北鎌倉ときたら寺めぐりしかあるまい。円覚寺、東慶寺、明月寺、浄智寺と、クソ暑いのに徒歩で移動。普段の運動不足を思い知る。足が痛い、疲れる、シャワーを浴びたい、冷やしぜんざいを食べたい、と愚痴を連発しながらダラダラと歩いて、お目当ての浄智寺の澁澤龍彦のお墓にたどり着く。ちなみに彼の命日は八月五日である。

マルキ・ド・サドやユイスマンスに夢中だった彼の墓も、意外と純日本風な場所に落ち着いていた。横尾忠則、埴谷雄高、池田満寿夫、四谷シモン、唐十郎、三島由紀夫など、彼の時代の周囲の芸術家たちは独特のアンテナでもってどこことなく自然に集まり、奇異なサロンを形作っていたのだろう。荒俣宏らも何度が足を運んだであろう澁澤の墓前には、今も全国から熱心なファンが墓参りにやってくるらしく、ワインや薔薇の花が供えられていた。

あの高丘親王はここで静かに眠っているのだ。

「読書人よ ささやかな行動を」

永田 康弘

「目の暴走族」を自認し、月に十冊は本と親しんできたが、ここ一、二年パタッと読まなくなつた。なんのことはない。五十四歳で三十一年勤めた会社を退職し、農業を始め、本代を捻出できなくなつたからだ。挙げ句に毎日疲れ果て焼酎をあおつて寝てしまふ体たらく。なさけない。

長らく地方紙のライターをしていた。その関係で郷土出版物には目がなかつた。古本屋を回つては回収に走り、いつの間にか大きな本棚を占領するはめになつた。水上勉、津村節子、中野重治ら福井とゆかりのある作家にも手を出し、全集までも買ひ求め、部屋の飾りになつていく。

また、いわゆる硬派の作家にも目を光らせていた。大江健三郎、加藤周一ら「知の巨人」と称される人たちだ。政治的にも思想的にも大きな影響を受け、今の筆者の心の原点になつていくといえれば大げさだろうか。これらと平行して、山書（登山の本）も収集し、山に登らず、山を語るといふ、登山仲間からすれば、「暴挙」に出た。筆者は一向に平気で、山岳会の「資料派」だと自称し、今日に至つていく。

我が家の書齋は、本で四方ともあふれている。ここでモーツァルトを聴きながら、カビくさくなつた本を眺め、一杯のコーヒーを飲むのが、至福の時のものだ。だれにも邪魔されたくない、ひとときである。

最近、実にシンプルな疑問なのだが、考えることがある。「なんで本ばかり読むの。もつと外へ出て楽しいことがいっぱいあるのに」ってね。ギョツとする。「読書をすることは知性につながるし、見識を高めることにもなる。知らない世界にもいざなってくれる」そんな回答は、あまりにも優等生的だ。

言いたいのは、もしかしたら最悪「勉強倒れ、読書倒れ」になつてしまふのではないか、ということだ。いくら知識をため込み、見識が高くても、それを社会に還元しなければ、何の意味もないのではないか。

例えば、感動的な児童文学に接したら、それを将来の大人たちに読み聞かせたり、核大国アメリカの大統領のプラハ演説に感動したら、ヒロシマ、ナガサキを大勢の人に伝えたいと動き出したり、最貧国の実情を知り海外協力隊に参加したり、そんな行動が社会を動かす原動力になると確信している。

キーワードは平和と民主主義だろう。心の平和、国の平和。社会科学でも自然科学でも、読書人が学んだことを社会の進歩に役立てる、という発想に古さはない。次代を担う若い人たちに貢献したい。そうしてこそ、「読書倒れ」は免れるのではないか。本の虫のあなたたち、今こそ、ささやかな行動を起こそう。

（ささだに健康ファーム・代表）

10月9日（土）13:30～14:30（開始時刻が変更になりました）

場所 中央図書館 学習支援室

時空を超える旅

第五回 メキシコ

皆さんは、メキシコという国名でなにを連想されますか？

白い砂浜、どこまでも青く澄み渡るカリブ海に太陽が皆さんと降り注ぐカンクンリゾート？見渡してもサボテンしかない砂埃舞う荒野に居並ぶ7人のガンマン？

一六世紀はじめにスペイン人がやってくる遙か以前から、メキシコはテオティワカンやチチェン・イツァ、パレンケ、ウシュマルといった地に次々と高度な古代都市国家を築いていました。驚くほど天体観測に優れていたマヤ文明は、二〇一二年にひとつの周期を終える暦と、いまだ解明できないコデックス（絵文書）を残したまま滅亡をとげ、次なるトルテカ文明では生きたままの状態で抉り出した心臓を供える生け贄の儀式や、勝者の代表が生け贄にされる死の球技が繰り広げられ、最後のアステカ文明がスペインに滅ぼされるまで、さまざま土着文化が繁栄を誇りました。そんな興味の尽きることはない謎の多いメキシコを今回は旅します。皆様どうぞご参加ください。

六月に行われました第4回トルコ編にはたくさんの方のご参加をいただきましてありがとうございます。トプカプ宮殿の秘宝あり、ハレムの悲劇あり、トルコの公衆浴場でのとんでも体験のエピソードありと盛りだくさんの内容で、この講座を通じてトルコをより身近に感じていただけたのであればこれに勝る喜びはありません。

石油に頼らない

森から始める日本再生

日本に健全な森林を作り直す委員会
委員 田中 保

この本、おすすめ！



編著は「養老孟司・日本に健全な森林を作り直す委員会」です。

少しばかり、養老先生と僕の関係

をお話させて頂きます。

先生とは、かれこれ十年以上のお付き合いになります。

先生が福井にいらした時は、粗末な我が家に泊まっていたたく事が殆どです。

ある朝、食事を同じにしている時、こんな会話がありました。

「福井もそうだが、日本中の森が荒れているね。」（養老）

「何とかしないと大変な事になりますよね。でもどうするの！」（田中）

「同じような事を考えている人を僕は何人が知っている。その人達と連携を取れば少しは変わるかもね」（養老）

とまあ、こんな具合で委員会が誕生する運びとなったのです。

この委員会のメンバーには作家、森林組合員、大学教授をはじめとする様々な職種の人が集まりました。

分野を超えた幅広い意見が集まる一方、思い通りにならない一面も。

さてさて、この先いったいどうなる事やら。

お暑うございます
編集後記



ネットワーク

ゆー、こんな本あるんやー
よんでみたいなー

なんとなくインターネットで見つけた
マイナーっぽい本

今の私にピッタリの本

市立図書館のホームページで検索!

蔵書検索 ↑ ネット

あーっ!!

県立図書館のホームページで検索!

福井県内の全図書館 横断検索 ↑ ネット

あーっ!!

自市立図書館から
おとりよせ☆

W-I
おとりよせ☆

Let's Go としょかん!!

http://suevari.com by スー

去る七月九日に、「ミサコの被爆ピアノ」コンサートが開催され、大勢の方々が熱心に聴かれています。大変嬉しく思いました。六日の役員会に急遽お願いしたところ快く引き受け頂き、しかも館長はじめ役員の方々のご協力で大成功でした。このコンサートの感動が、世界の平和につながることを祈念します。皆様方のご健勝をお祈りします。

(宗)

「ありがとう」の言葉は私の心を有頂天にしてくれます。友の会の皆様!私を仲間に入れていただき「ありがとうございます!」(長)

友の会も定番の行事を継続する中で、突発的なイベントが舞い込み多忙な日々。ゆるゆると行きましよう。ゆるゆると。

(栗)

暑い日々、鈴木先生おすすめの怪談ですうっとなったり、料理本を参考に涼しげな料理を作ってみました!とこの夏も図書館は私のオアシス。

(杏理子)

図書館友の会でいっしょに活動しませんか?

「図書館をもっとみんなに利用してもらおう」
「こんな事業をしたら楽しいな」、
そんな活動をいっしょにしませんか。

主な活動

年会報の発行・図書館の行事やイベントへの協力・参加など

入会方法

活動の趣旨に賛同してくださる方ならどなたでも入会できます。

入会金 500円 (*会の運営に充てさせていただきます。)
カウンターもしくは、友の会事務局員へ申し込んでください。

越前市図書館友の会

連絡先 越前市中央図書館

住所 915-0832 越前市高瀬2丁目7-24

電話 0778-22-0354 FAX 0778-21-2001

メール tomonokai@lib-city-echizen.jp